様式 2 (2018年度)

事業実績報告書

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-71	講座名	むささびっ子の森たんけん隊
記載日	2019/4/24	団体名·企業名	NPOチームばんどり

〈講座全体の概要〉(300字程度)

森の中で楽しみながら自然に親しみ、子どもの発想で思いっきり遊ぶことでその「生きる力」を育み、持 続可能な社会づくりに貢献する人材を育成することを目的としています。

あいち海上の森センターの協力を得て、森の一角を整備しながら自分たちで自分たちの遊び場をつくりました。火を使うプログラムでは、同時開催した森のようちえんのちびっ子を歓迎すべく、大きなバームクーヘンを焼いてみんなで食べました。

<写真添付スペース(1~2点)>



※写真1の説明

2/17 あいち海上の森センターにて センターを見下ろせる場所に見張り台が完成



※写真2の説明

1/20 定光寺野外活動センターにて 長さ40cm、厚さ5cmの巨大バームクーヘン完成

〈 企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

自分たちで遊び場に何を作るか、そのためにどう整備するかを決めました。公園とは違って平坦ではないし木もたくさん生えています。そんな場所を自らの力で切り開き、整備して遊ぶというダイナミックな体験は、子どもたちに生きる力を与えてくれたはずです。大人は子どもの指示に従って、力仕事で威力を発揮しました。バームクーヘンや遊び場づくり、どちらも園児のためにどうしたらいいか。常に小さい子のことを考えて行動したことは、彼らにとって大きな学びとなりました。

〈 受講者の声(実感した反応及びアンケートより) 〉(3~5点、計350字程度)

- ・木を伐って、森を整備して見晴らし台を作るという大変な作業でしたが達成感がありました。
- ・自然で遊ぶことの大切さを感じさせてもらえることが嬉しかった。
- ・子どもたちの努力が見に見える形になるところが良かった。
- ・雨の中、濡れていない木を選んで大きな火を熾したのを見て成長を感じた。
- ・焚き火もバームクーヘンも子ども主体ででき、嬉しいさ半分。寂しさ半分。
- 自分でやいたバームクーヘンがおいしかった。